

フォローアップミーティング カタール・インドネシア訪問

平成 25 年 11 月 17 日から 22 日の間、佐瀬専務は、産油国との交流を深め相互の理解と協力を増進するため、カタール、インドネシアを訪問、国営石油会社のトップマネジメントとの政策対話を行いました。

1. カタール

(1) LPG TRADE SUMMIT 出席

11 月 18 日、カタール国際マーケティング会社（Tasweer: Qatar International Marketing Co., Ltd.）が主催、ドーハ市内のホテルで開催する LPG TRADE SUMMIT に出席しました。

LPG 関連の国際会議への参加は初めてでしたが、モハammad アル・サダ エネルギー工業大臣（Dr. Mohammed Al-Sada, Minister of Energy & Industry）が開会挨拶を行うなど、カタールのみならず世界の LPG 関係者の関心が高く、基調講演・プレゼンテーションを通じ、有益な情報を収集することができました。



開会挨拶をするモハammad アル・サダ エネルギー工業大臣

(2) Tasweer との MOU 調印式

11 月 19 日午前、ドーハ市内の同社本社にて MOU を締結しました。詳細は別掲の「Tasweer との基本合意書締結」をご覧ください。

(3) 在カタール日本国大使館訪問

11 月 19 日午後、在カタール日本国大使館を訪問し、津田大使と面談しました。

佐瀬専務が、「今回の訪問は本年度の JCCP 国際シンポジウムに参加いただく Tasweer からの招待を受けたことによるもので、LPG TRADE SUMMIT に出席した他、同社のサード アブドラ アル・クワリ最高経営責任者（Mr. Saad Abdulla Al-Kuwari, CEO）以下が臨席のもと、MOU の調印式を行った」と説明しました。津田大使は、「カタールは日本のエネルギーセキュリティ上、その重要性は高くなるので、カタールでの事業を継続し、両国の関係を深めていただきたい」と述べられました。



津田大使（左から 2 番目）

2. インドネシア

(1) MIGAS

11 月 21 日午前、インドネシアエネルギー工業省石油ガス局（MIGAS: Directorate General of Oil and Gas）を訪問し、エディ ヘルマントロ局長（Mr. A. Edy Hermantoro Director General）と面談しました。



ヘルマントロ局長（右から 2 番目）

まず、佐瀬専務が「事業への支援に対して感謝している。貴局との関係を深めるため、忌憚のない要望等をヒアリングするために訪問した」と挨拶しました。ヘルマントロ局長は、「24年12月に前任のエビータ・レゴワ氏（Ms. Evita Legowo）から現在の職を引き継いだ。彼女からもJCCPのことは報告を受けている。多くの研修生を受入れていただき、本当に感謝している。JCCP研修に参加したOB、OG職員でネットワークを設け、同窓会活動を行っている」と述べられました。

佐瀬専務が「各国、各組織でニーズが異なる。それに対応するためカスタマイズドコースを準備している。ご要望があればJCCP窓口へ連絡願いたい」と述べたのに対して、ヘルマントロ局長は、「ご提案に感謝する。先週JCCPの他の派遣団が来訪され、同様の提案をいただいている。早速、社内検討する」と述べられました。

(2) PERTAMINA

同日午後、プルタミナ（PERTAMINA）を訪問し、エビータ タゴール人材開発担当取締役（Ms. Evita M. Tagor, Human Resources Director）と面談しました。

まず、佐瀬専務が「JCCP事業への支援に対して感謝している。貴社との関係を深めるため、率直な要望等をヒアリングするために訪問した」と述べ、タゴール取締役は「カレン アグスティアワン社長（Ms. Karen Agustiawan, President Director）が所用のためお会いできないが、彼女からも『佐瀬専務に宜しく』との伝言をいただいている。多くの研修生を受入れていただき本当に感謝している。JCCP研修では多くの有益な情報が得られるので、JCCP研修を社内研修の一つとして組み込んでいる。今後とも社員の研修に対してご協力をお願いしたい」と述べられました。

また、MIGAS同様、佐瀬専務がカスタマイズドコースを提案したのに対して、タゴール取締役が社内での検討を表明されました。



タゴール人材開発担当取締役（左）

(3) 在インドネシア日本大使館

同日午後遅く、在インドネシア日本大使館を訪問し、牛尾経済公使と面談し、現地情報を収集しました。

3. まとめ

カタールでのLPG TRADE SUMMITでは、有識者の有益な情報を得ることができました。また、カタール及びインドネシア国の窓口組織の要人と政策対話を行い、JCCPへの期待を改めて強く感じました。今回のようなフォローアップは定期的に実施する必要性も痛感しました。現地ですぐに入手した貴重な情報をJCCPの今後の活動に活かすべく、検討したいと思います。

（業務部 井生 浩一）

